

観光立国の実現は、地方(地域)から

逆境バネに、新たな商機つかめ

— 旅行業4社トップ座談会(9面から続く) —



石川 加えて、栃木や茨城など東北は重点送客地となるのか。復興の足取りも重たいだけに旅行会社の送客力に期待したい。

震災復興・インバウンド

13年も東北は重点送客地となるのか。復興の足取りも重たいだけに旅行会社の送客力に期待したい。

田川 当然そのようにする。阪神淡路大震災の時もそうだったが、少なくとも最低5年は送り続けなければいけない。風化させてはいけない。

吉川 12年12月上旬にJATAで「東北復興支援1000人プロジェクト」を実施した。冬が東北6県の観光素材をぎぎと見てきた。その成果を今後の商品企画に生かしていく。東北は首都圏からのアクセスもよ、周遊性もある。旅行業界挙げて復興を支援していかなければならない。

丸尾 東北の魅力は豊富な観光資源であり、観光が支えてきたといっても過言ではない。まだまだ埋もれている資源も多くあり、掘り起こして新たな東北の魅力を生かすことに提供していく。

石川 加えて、栃木や茨城など東北は重点送客地となるのか。復興の足取りも重たいだけに旅行会社の送客力に期待したい。

風評エリアに送客を イン誘致へ理解必要

指導者が代わり、どういった対日政策を打ち出すかで状況は変わっていく。12年11月末に、福島県いわき市で開催予定であった日中韓観光大臣会議が延期になった。早いうちに開き、中国、韓国、観光大臣をはじめ、観光関係者にぜひ日本を見てもらいたい。

田川 できれば2月の春節には来てほしい。

石川 中国、韓国ともに

中国各地のイベント12社と東京でミーティングをした。今後の対応を話し合った。今は政治的な問題で送客できない状況になっているが、彼らが日本への送客を望んでいる。日本への送客を望んでいる。ミーティングのテーマは二つあり、一つは中国から日本へくるビザが個人化していく中で、FIT(個人旅行)のお客さまへの対応を今後どうするか。

丸尾 これまでの、日本のインバウンドプロモーションについての反省が二つあると思う。一つは、対象となる

石川 12年9月に開かれた「旅博」にはギリシアやフランス、ドイツ、スイスなど欧州勢が出席しなかった。旅行会社もさることながら、政府自身が乗りだし、旅博出席を促すような働きかけや、補助を出すことも検討してみたい。

田川 先方の事情もあるだろうが、日本側の働きかけも弱い。せかか舞台を作っているのに、官民が一体となりきっていない面がある。

丸尾 さまざまな課題はあると思うが、観光による相互交流によって「人を知り、文化を知り、生活を知り」という意味でもとても大事なことで、できる限り早く回復してほしい。

石川 12年末に取引のある

丸尾 さまざまな課題はあると思うが、観光による相互交流によって「人を知り、文化を知り、生活を知り」という意味でもとても大事なことで、できる限り早く回復してほしい。

石川 13年は「日本AS

石川 国際交流強化のための布石で、そういう人物をトップに据える柔軟さは見習いたい。誘客の一つの戦略であることは間違いない。

丸尾 日本は各企業が技術力に磨きをかけ、それを国が後押しし、国際競争力を培ってきた。インバウンドも同じように各企業や自治体それぞれが取り組み、役割を決めて、国を力に結集してやらないと本場に競争に負けてしまう。

田川 地方自治体は観光振興に熱心で、全国の知事のうち、8割くらいは観光に力を入れてる。この流れをどうして中絶は受け止めないのか不思議で仕方がない。

石川 トルコ大使館の観光のトップは女性だ。アジアの政府観光局のトップも女性が多い。観光を引っ張るのが女性であるならば、女性の視点というのも重要ではないか。

田川 トルコも女性で、考え方がとても素晴らしい。業者と行政、政府が三位一体となって動いている。まさに外客誘致の優等生だと思う。見習うことはたくさんある。

石川 どうしてそんなに伸びているのかも参考にすべきだ。

外国の柔軟さ見習え 政治は観光に理解を

石川 先方の事情もあるだろうが、日本側の働きかけも弱い。せかか舞台を作っているのに、官民が一体となりきっていない面がある。

田川 先方の事情もあるだろうが、日本側の働きかけも弱い。せかか舞台を作っているのに、官民が一体となりきっていない面がある。

丸尾 例えは中国との関係だが、民主党が中国とのパイプをもっと持っていたら、ここまでこじれることはなかったという意見もある。インについても同じようなことが言えるのではないかと。

田川 昨年、米出国出張の際に会った米国の行政官から言われたのは「以前は議員交流がツリズムの面でもたくさんあったが、近年全くなくなってきた」ということを言われ耳が痛かった(笑)。

吉川 韓国観光公社のトップは韓国籍を取ったインバウンド。昔も高く、非常に目立つ(笑)。欧米受けする

石川 国際交流強化のための布石で、そういう人物をトップに据える柔軟さは見習いたい。誘客の一つの戦略であることは間違いない。

丸尾 日本は各企業が技術力に磨きをかけ、それを国が後押しし、国際競争力を培ってきた。インバウンドも同じように各企業や自治体それぞれが取り組み、役割を決めて、国を力に結集してやらないと本場に競争に負けてしまう。

田川 地方自治体は観光振興に熱心で、全国の知事のうち、8割くらいは観光に力を入れてる。この流れをどうして中絶は受け止めないのか不思議で仕方がない。

湯船で蔵王とさしむかい 湯るり湯るりと温泉をお楽しみ

温泉

山形の風土をお伝えする絶品料理

料理

一枚一枚の楽焼に宿る良縁の歴史

楽焼

山形県/かみのやま温泉

日本の宿 古窯

TEL (023) 672-5454 FAX (023) 672-5459

〒999-3292 山形県上山市葉山5-20 かみのやま温泉 日本の宿古窯

◆古窯HP <http://www.koyoga.com/> ◆携帯版 <http://www.koyoga.com/m>

自家源泉

TEL (023) 688-4411

FAX (023) 688-5617

〒990-2311 山形県山形市大字黒沢319-2

◆ゆさHP <http://www.dosayusa.jp/>

三十周年

ぎんざ 古窯

TEL (03) 3574-7666

FAX (03) 3571-9188

〒104-0061 東京都中央区銀座7-6-11 ミクニビル2F

◆ぎんざ古窯HP <http://www.ginzakoyog.jp/>